

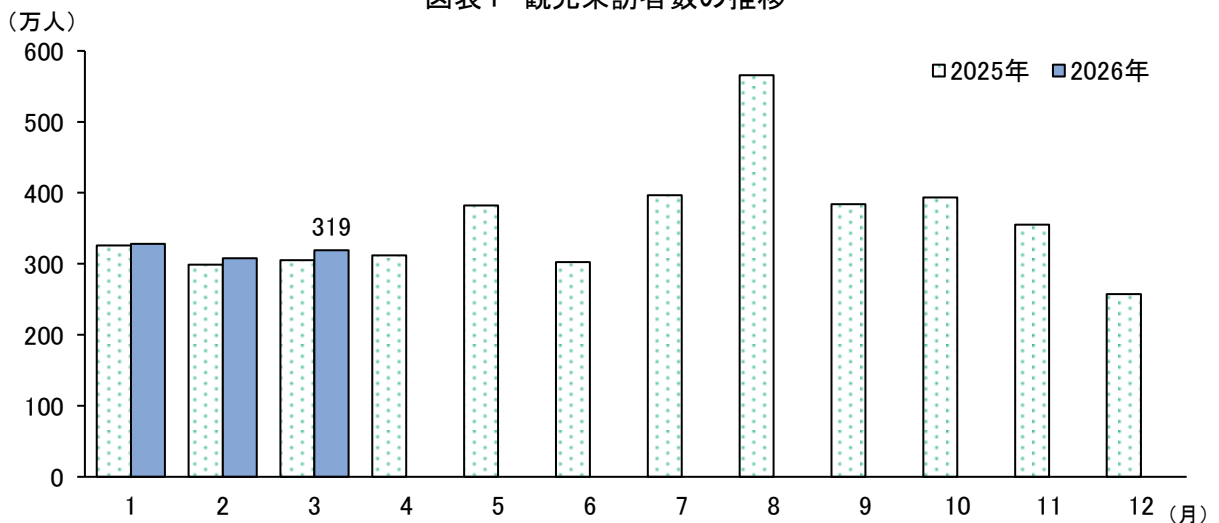
長野県の観光来訪者数の動向 (2026年3月)

(公社) 日本観光振興協会が公表するデジタル観光統計オープンデータによると、2026年3月の長野県内の観光来訪者数は319万1,425人で、前年同月比+4.7%となった(図表1)。

累積の観光来訪者数(26年1月~3月)は、954万8,393人(前年同期比+2.8%)となっている。

市町村別では、観光来訪者が多い順(26年3月)に長野市が36万3,144人(前年同月比+13.6%)、軽井沢町が28万5,281人(同+3.3%)、松本市が28万3,216人(同+2.8%)などとなった(図表2、3)。

図表1 観光来訪者数の推移

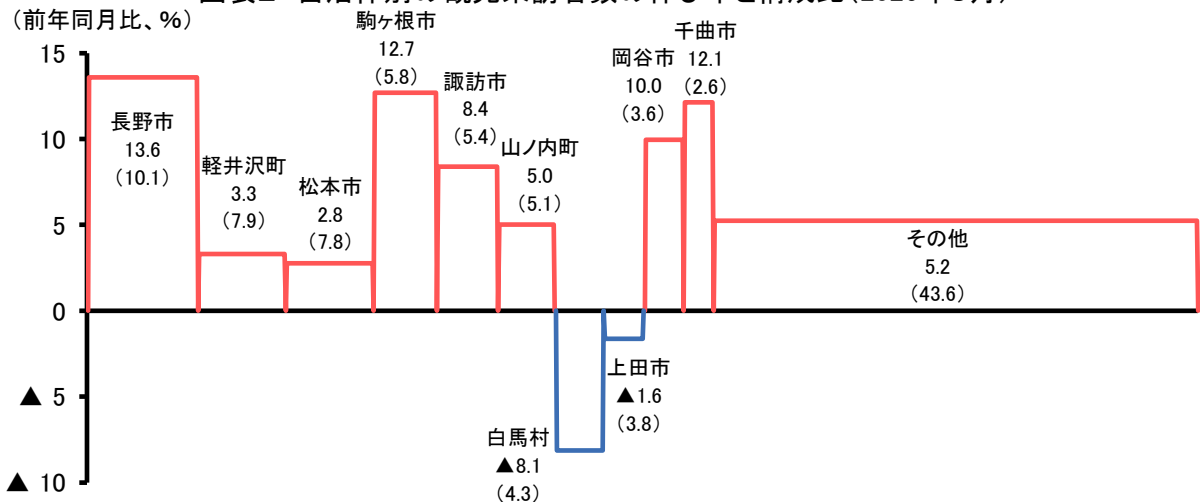


(資料) (公社) 日本観光振興協会「デジタル観光統計オープンデータ」

(注) 1. 観光地点確認・変更によるデータ更新を実施したため、2025年および2026年1月~2月のデータが改定された。そのため、2024年以前と2025年以降のデータは単純比較できない

2. 以下の図表も同じ

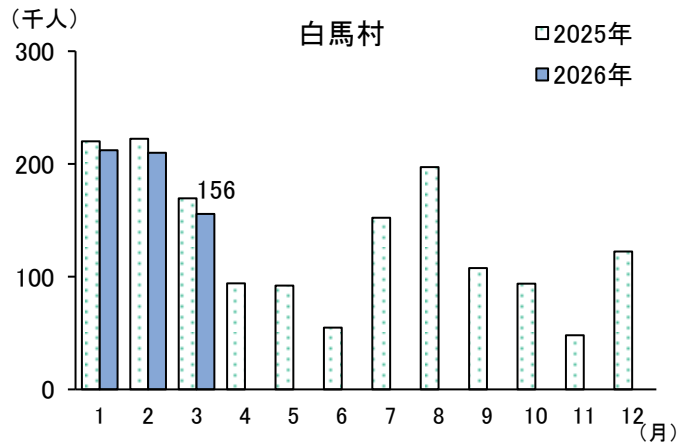
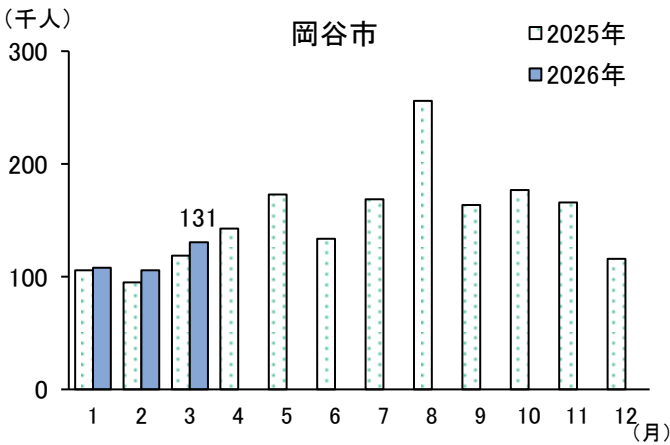
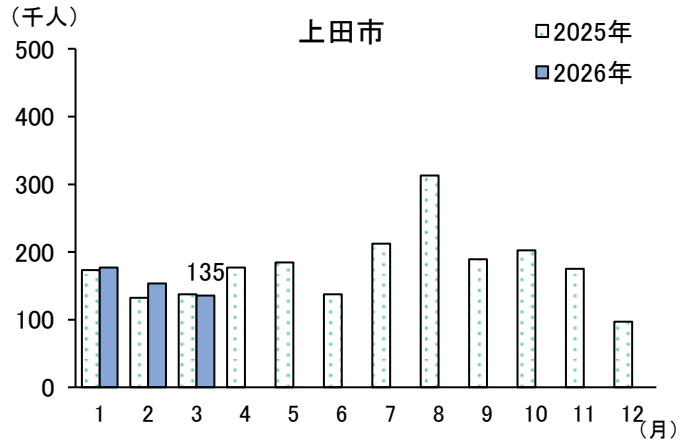
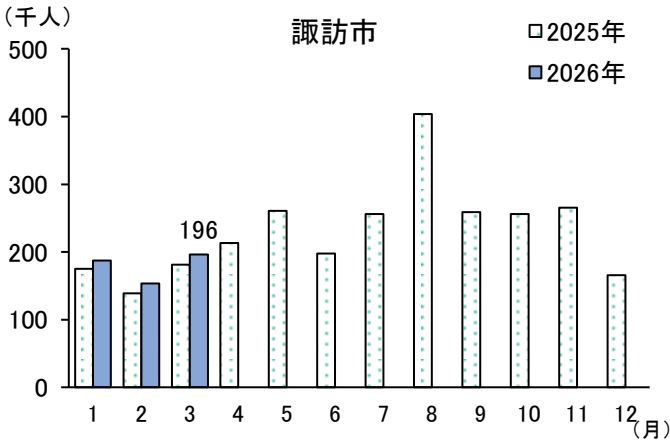
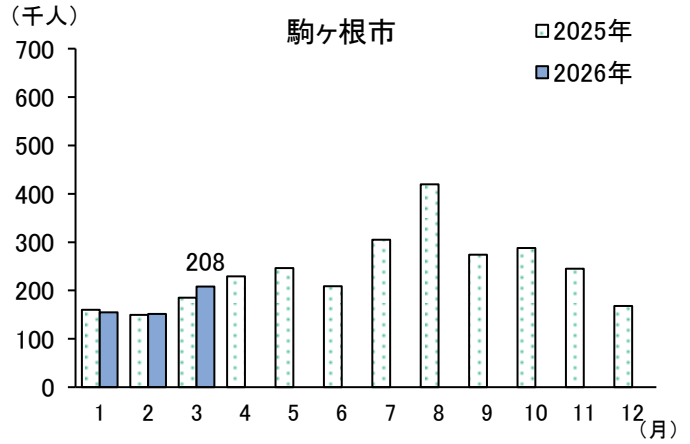
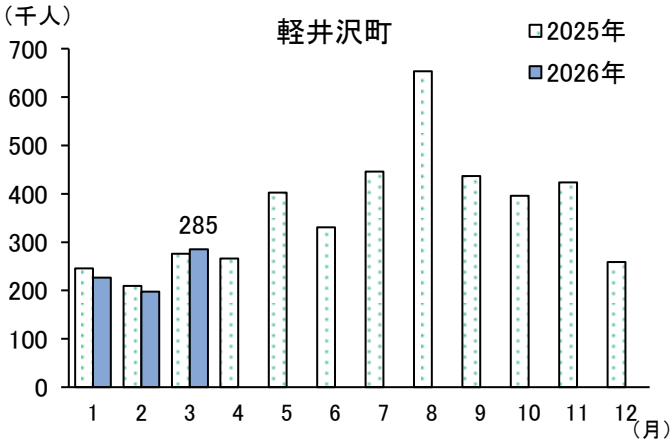
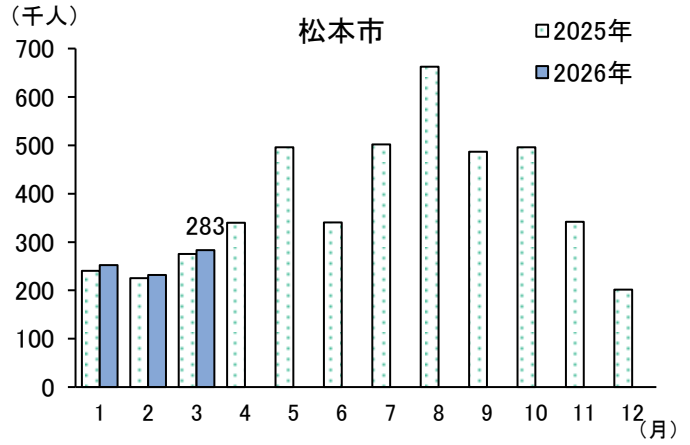
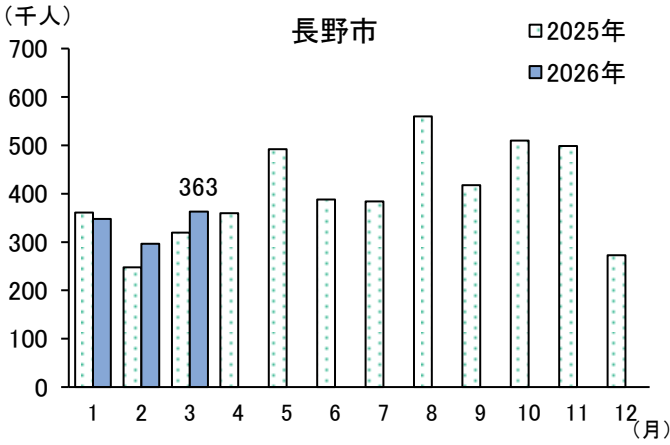
図表2 自治体別の観光来訪者数の伸び率と構成比(2026年3月)



(注) 1. 自治体は、2026年3月の観光来訪者数が多い上位10自治体を左から昇順に並べたもの

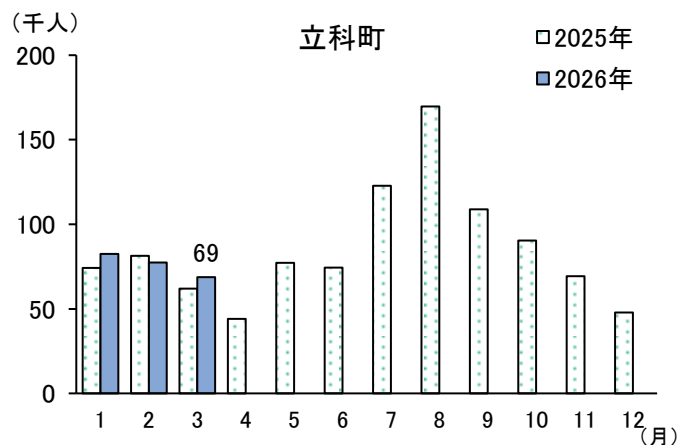
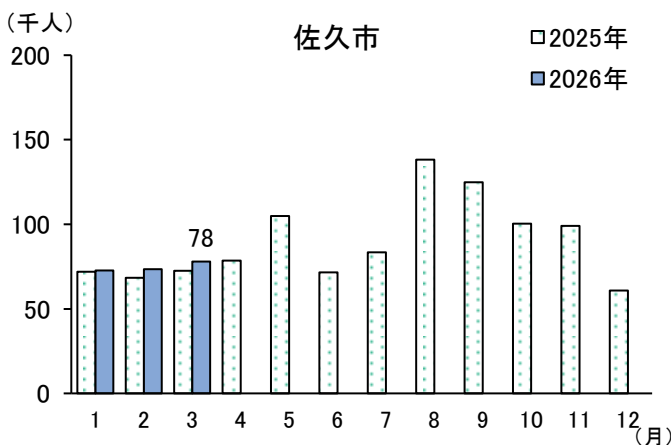
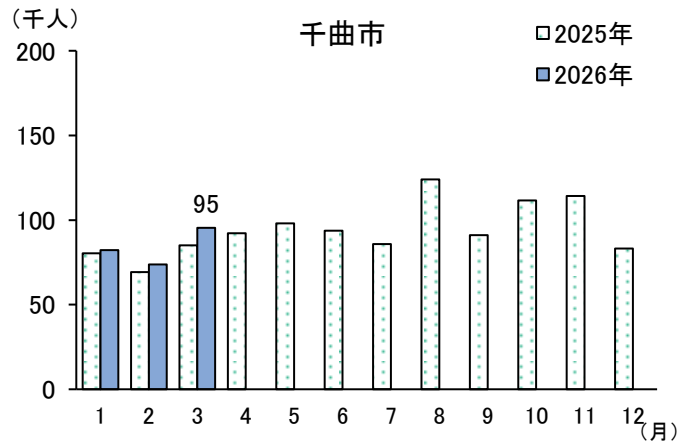
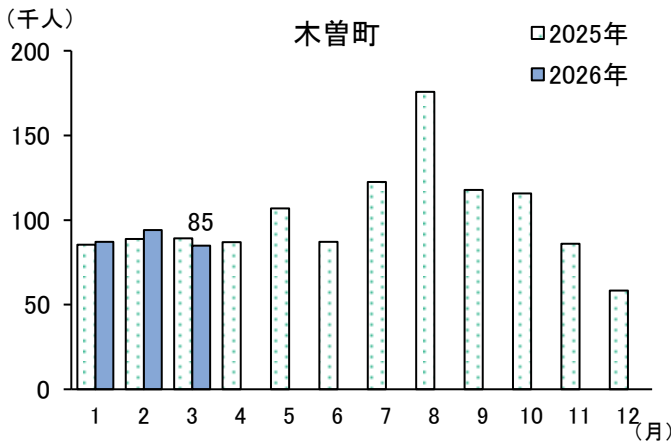
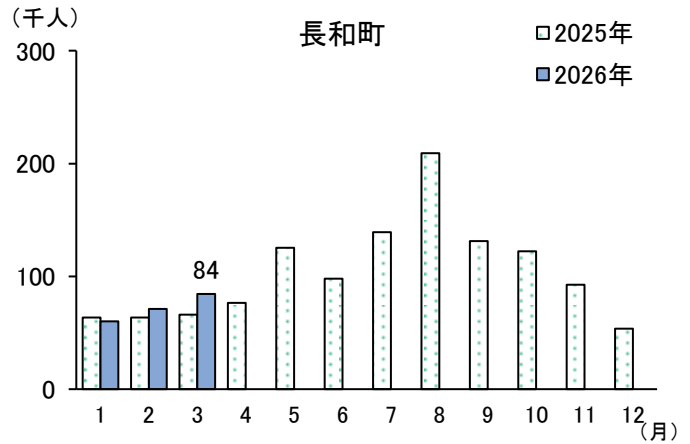
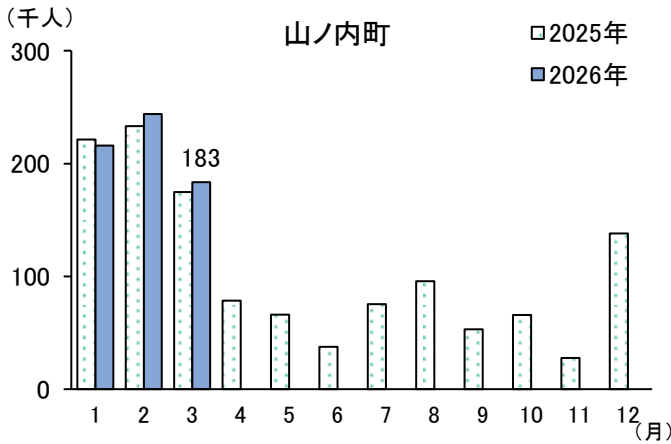
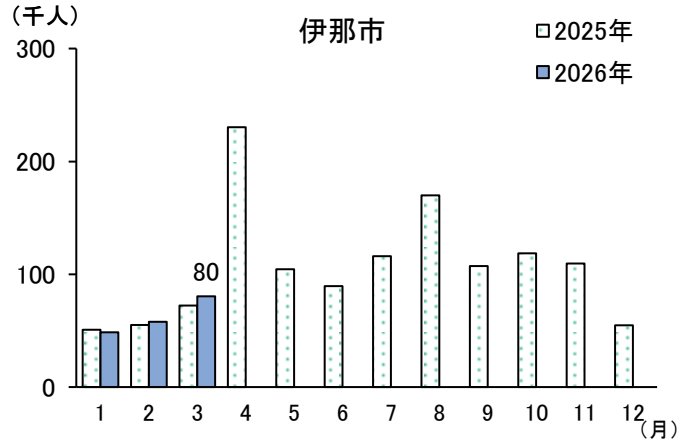
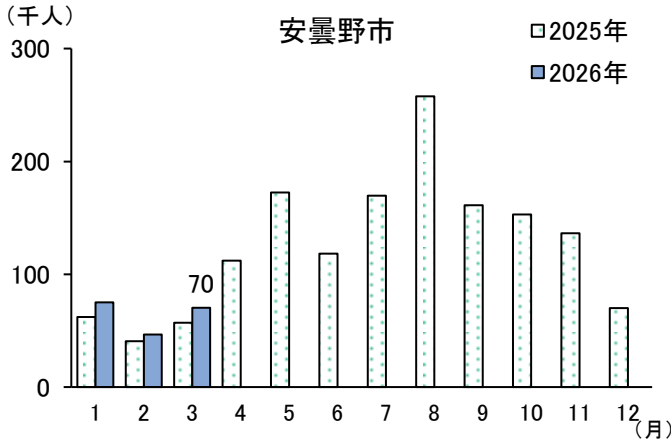
2. 自治体名下の数値は伸び率、()内は各自治体の観光来訪者数の合計に占める構成比

図表3 観光来訪者数の上位自治体_①

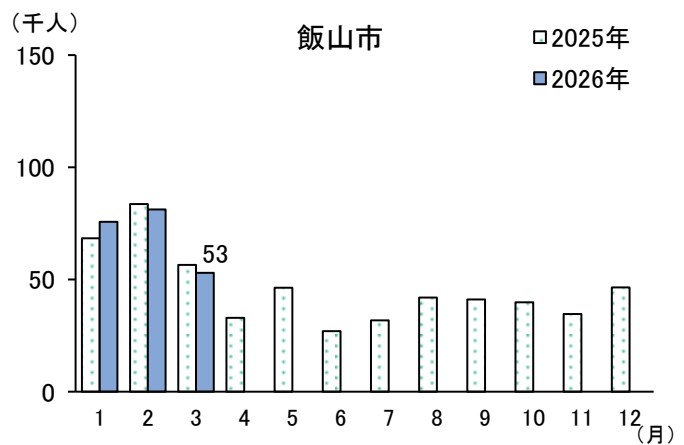
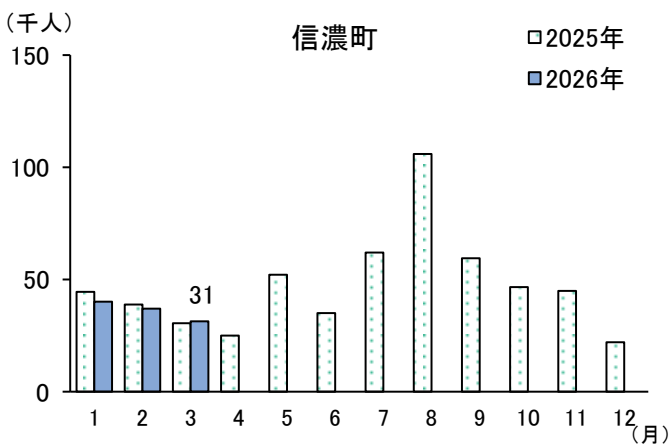
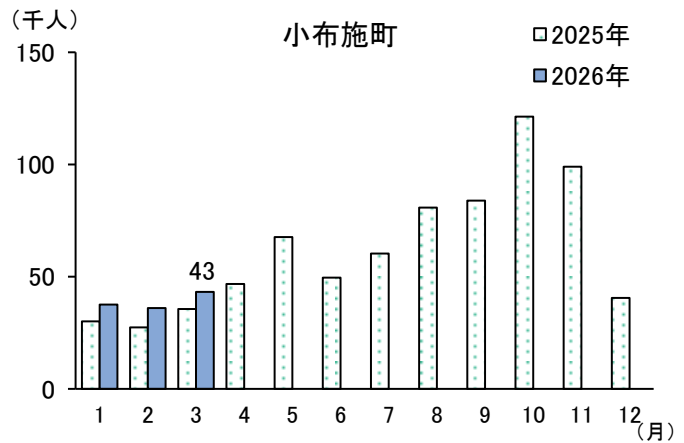
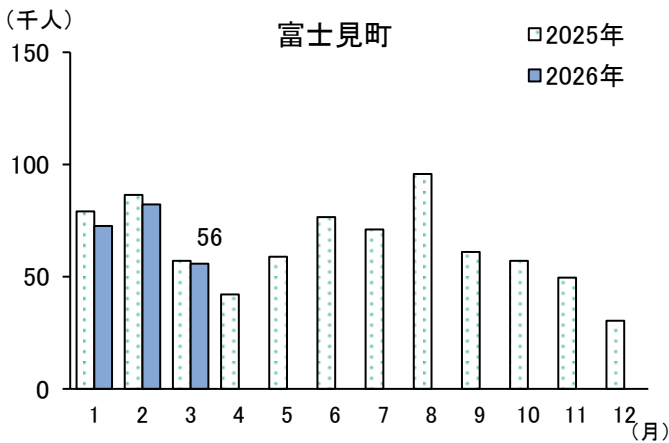
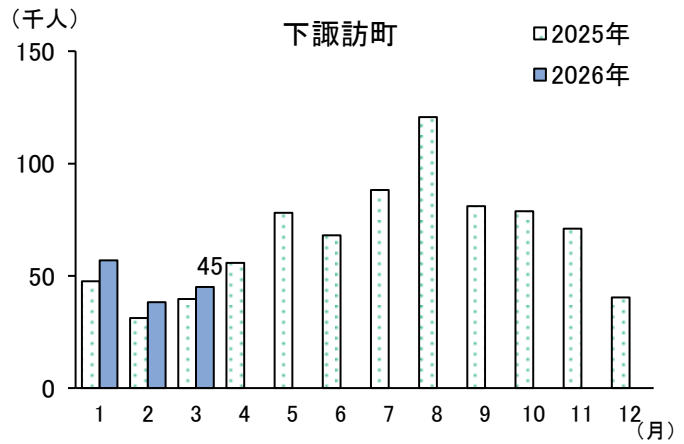
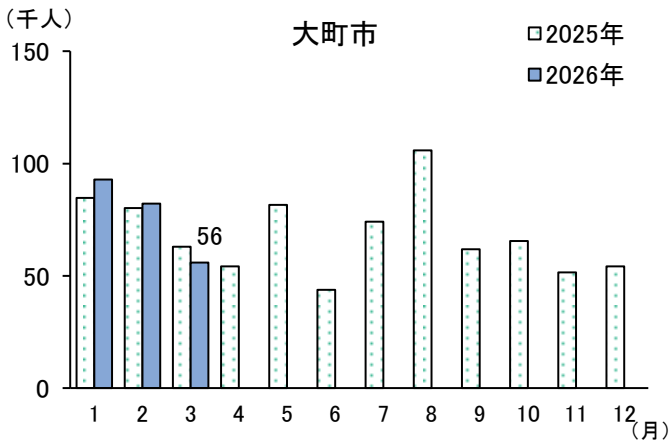
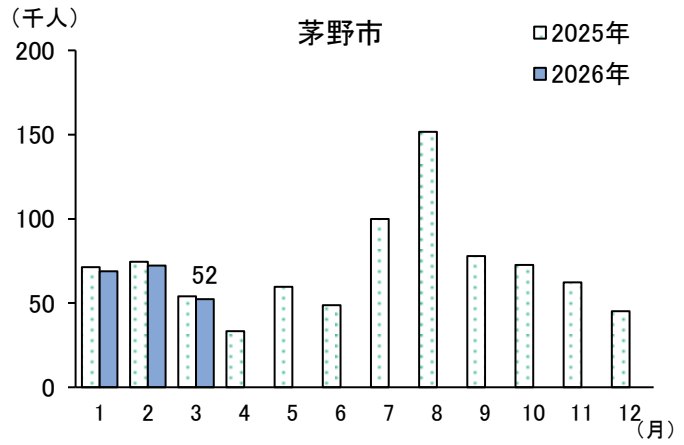
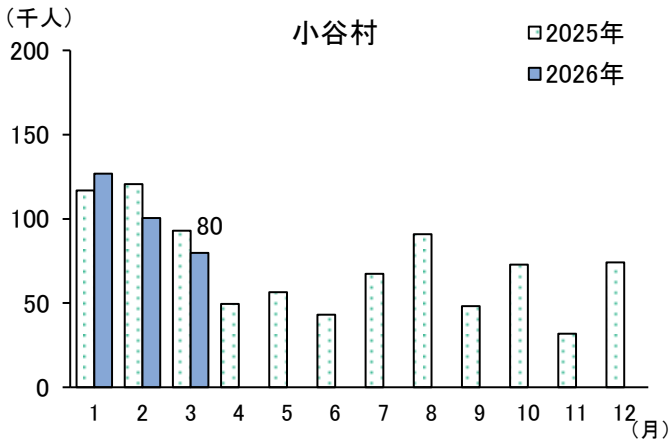


(注) 掲載自治体は、2025年の1年間の観光来訪者数の多い24市町村順

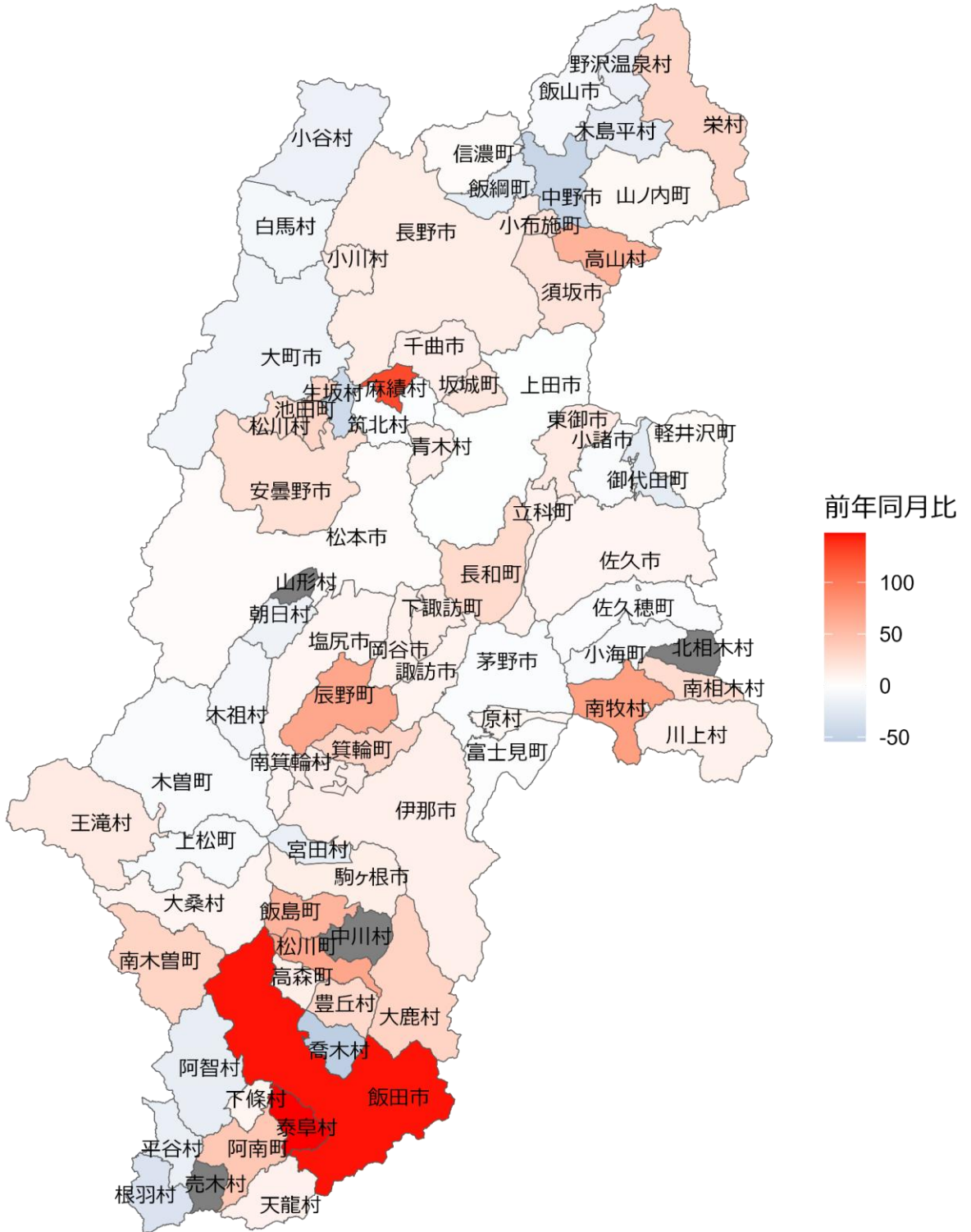
観光来訪者数の上位自治体 ②



観光来訪者数の上位自治体 ③



図表4 観光来訪者数の前年同月比(2026年3月)



(注)グレーの塗りつぶし(山形村、北相木村、中川村、売木村)は前年同月比が計算できなかった自治体

デジタル観光統計オープンデータについて

公表機関	公益社団法人日本観光振興協会
調査対象	日本国内居住者の観光目的と見込まれる入込数(詳細は下記観光来訪者の定義を参照)
調査期間	2021年1月～ 直近1カ月分を毎月更新(毎月中旬に前月分を公表)
公表区分	都道府県別、市町村別
調査方法	ブログウォッチャー社が事前に許諾を得て取得したスマートフォンの位置情報データを活用
調査(観光)地点	自然資源、史跡・城跡・城郭、神社・寺院・教会など、各観光地点の施設や敷地形状に合わせて、10m四方のマス目で調査地点の範囲を設定している。 各地点の選定に当たっては都道府県担当者と連携・協力している
観光来訪者の定義	直近2ヶ月間で夜間または昼間に一定以上出現する場所をそれぞれ推定居住地域および推定勤務地域とし、推定居住地域から観光地点までの距離が20km未満の日常生活圏内移動や、観光地点に推定勤務地域が含まれる通勤・通学者の移動は集計対象から除外
推計フロー	設定した各観光地点に滞在した来訪者数を把握した後、住民基本台帳人口に占める割合を基に拡大推計を行う。その上で、都道府県および市区町村単位における日別ユニーク人数を集計し、月ごとに合算している
留意点	① スマートフォンアプリの利用率が低い特定の年齢層(19歳以下や70歳以上)は、観光来訪者数に反映されにくい ② 近隣者が多い(商圈の狭い)観光施設は観光来訪者数が過少になる。特に1月(初詣時期)の神社・寺院等への参拝客

詳細は、下記デジタル観光統計オープンデータHPをご覧ください
<https://www.nihon-kankou.or.jp/home/jigyou/research/d-toukei/>